

令和4年度北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会定例会議議事要旨

開催日及び場所	令和4年12月22日(木) Web開催	
委員	委員長 菊地 均(学識経験者) 欠席 委員長代理 佐藤 昭彦(弁護士) 委員 後藤 正典(公認会計士) 委員 白石 悟(学識経験者)	
審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年9月30日	
抽出案件(合計)	9件	(備考) 審議の前に、菊地委員長が急遽欠席となったため、委員長の指名により佐藤委員が議事を進行することとなった。
工事(小計)	8件	審議を開始するに当たり、白石委員から、今年度の審議対象案件の抽出の考え方について説明があった。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。 次回開催時の案件抽出について、後藤委員が指名された。 来年度の当番校は旭川医科大学であるとの説明があった。
一般競争 (調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	6件	
通常指名競争	0件	
随意契約	2件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、それに対する意見等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等一定のスキルがないと施工できない工事を除き、一般的な工事では参加要件を緩和し、幅広く参加を募ることで健全な入札に繋がるものと考えられる。 ・入札が不調となった場合は、技術者不足や資材高騰による影響など、その要因を資料中に説明頂きたい。 	

質 問	回 答
<p>1. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>2. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>3. 抽出案件の考え方について (白石委員より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の定例会議において、北海道大学から3件、その他の6大学から各1件ずつ抽出することとなった。この方針に沿って北海道大学から3件、6大学から各1件の合計9件を抽出した。 	
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(1) 競争入札において応札者が1者のみの工事</u> 1. 【北海道大学】(札幌・函館)基幹・環境整備(電話交換機設備)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札者は大手企業であるが、他の参加者はどうか。 ・工事内容・規模等に鑑みて対応できるところが応札してきた、ということか。 ・回線数の多寡で技術的困難度は変わるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札説明書は落札者を含む6者に配布しており、それなりに大手企業も参加していた。 ・参加条件とした500回線は1つのビルの交換機のサイズで、実際に本件工事の対象となる交換機のうち南地区の4,000回線は、自治体で町村クラスの交換機に相当する大きさである。そのため、ある程度技術力や実績があるところが応札してきたものと推察される。 ・病院の場合、1回線当たりの短時間での切替が必要であり、リスクが伴うため、総合病院クラスの実績がある業者が参加表明してきたものと考える。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(1) 競争入札において応札者が1者のみの工事</u> 2. 【北海道大学】旧農学部図書館改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回公告と再公告で予定価格の見直しは行われたか。 ・初回公告時より再公告時に予定価格が上がった理由は。 ・事前に見積りを徴取して色々調査が必要だったのは、文化財という特殊性の観点からか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の公告では取壊しも含めた工事内容であったが、再公告の際は、工期の都合上、取壊しのみ先行して実施した。再公告では、取壊し分の金額を除いている。 ・実勢価格の反映のため、専門業者への聴き取り等による査定の見直し、見積書の再徴取等により、結果的に予定価格の上昇に至った。 ・通常工事でも見積りは徴取しているが、本件のように登録有形文化財の工事となると通常より割高な取引価格となっていることもあり、予定価格の見直しに至った。

質 問	回 答
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (5) 随意契約のうち少額随契でない工事</p> <p>3. 【北海道大学】病院中央診療棟空調自動制御設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本空調自動制御システムの機器更新において、製造メーカーの部品供給が不可能な場合、新たに製造するとなると製造メーカー以外の他者でも施工できるのではと思うが、全体のシステムを理解していないとシステム上の不都合が生じる恐れがあるため、製造メーカーである請負者と随意契約したという理解で宜しいか。 ・独自性の高い自社製品を取り扱うメーカーの製品は、言い値にならないよう留意いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。中央監視設備との互換性を保つため、本空調自動制御システムの製造メーカーによる施工・調整が必要であると判断した。 ・見積内容を精査して留意する。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (5) 随意契約のうち少額随意契約でない工事</p> <p>4. 【北海道教育大学】北海道教育大学附属旭川中学校校舎改修機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の公告で不落・不調となり、2回目の公告では応札者がゼロであったと説明を受けた。業者の見積価格と予定価格の差があったが、市場価格と乖離があったのか、市場の調査状況について教えて頂きたい。 ・資料「見積価格と予定価格の項目別差異」の中で見積価格は共通費の大幅値引きとなっており、内訳の現場管理費、一般管理費を圧縮したものと思うが、事情がわかれば教えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の結果、特にガス関係、空調、屋外排水関係が、市場価格と乖離していたものと推測される。 ・旭川市役所あるいは旭川地区の公共工事の請負者が決まってきたことで、本工事を受注するため金額を圧縮したものと推察される。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの工事</p> <p>5. 【室蘭工業大学】附属図書館改修その他機械設備工事（再公告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札は1者であったが、入札説明書交付者数は把握しているのか。 ・過去の参加者数から3者程度入札参加が見込まれたという理由は。 ・入札参加者数が増えるよう努力いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上で入札説明書を公開しているが、閲覧数のカウントができないため数は不明である。 ・過去の入札参加者数を平均すると1.6者であったことから、それに加え近隣の業者に連絡をして参加を促したためである。 ・室蘭市内のほか、苫小牧、札幌の業者にも連絡し、入札参加者の確保に努めているところである。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 (1) 競争入札において応札者が1者のみの業務</p> <p>6. 【小樽商科大学】（緑）3号館改修機械設備工事（Ⅱ期）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅱ期工事とのことだが、受注者はⅠ期工事と同じか。札幌市内の業者でも施工できそうだが、参加がなかったということか。 ・小樽市内だと業者数が限られているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事については、Ⅰ期と同じ業者が請け負うこととなった。応札した業者は地元の1者であったが、入札説明書を交付した者には札幌市の業者も含まれていた。 ・発注するタイミング、時期によっては地元の業者に偏るという場合もある。 建築工事及び電気設備工事については、札幌の業者が参加しているため、一概には言えない。

質 問	回 答
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(1) 競争入札において応札者が1者のみの工事</u> 7. 【帯広畜産大学】国際交流会館I等外壁改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が約92%で落札されたことについて、価格差の要因についてご説明いただきたい。 ・予定価格と工事費内訳書の対比表を添付頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札者は、本学内で既に別の工事を施工しており、現場管理費及び一般管理費が低廉になったものと推察される。 ・今回は応札者が1者のみの事業であったため、添付していないが次年度以降対応したい。
<p>4. 建設工事における抽出案件の審議 <u>(4) 入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</u> 8. 【旭川医科大学】旭川医科大学外来診療棟等屋上防水改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格と工事費内訳書の対比を行っているのか。 ・業者の在庫資材の有無を把握することは難しいと思うが、予定価格の算定では、その工事のために必要な資材は調達するため、積算するという考えで宜しいか。 ・在庫資材を使うことについて、工事品質について問題ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料として添付はしていないが、予定価格と工事費内訳書を比較すると、防水資材について価格差があった。これは、落札者の在庫する資材を使用したため、工事費が廉価になったものと推察される。 ・そのとおりである。 ・監督職員が製造年月日等を確認しており、品質に問題ないことを確認している。
<p>5. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 <u>(1) 競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの業務</u> 9. 【北見工業大学】総合研究棟(機械工学系)設備設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件については、北海道内に本支店がある業者に限定しているが、参加対象者を北海道以外に拡大することも一考である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・承知した。